

セッション紹介

13:10～14:00 セッションⅠ「医療人のやりがいをもたらすコーチング流チームマネジメント」

【内容】人は仕事を通じて成長する。そのためには、個人のやりがい感、チーム意識、モチベーションを高めることが必須である。これにはコーチングスキルを使うことによってより一層効果が期待できる。リーダーは、職場環境を整え、部下の自己実現をサポートし、さらに自身の自己分析と自己開示を行い、組織が向かうべき道筋、ビジョンを提示する。そしてコーチング流コミュニケーションチームによってチームの人達をまとめることが要求される。

【演者紹介】畑埜義雄 和歌山県立医科大学名誉教授、畑埜クロスマネジメント代表。大学在職中、コーチングを学習し麻酔医局、病院マネジメントにコーチングを活用した。現在は、病院、企業などでコーチングによるリーダーシップマネジメントに関する講演活動。日本臨床コーチング研究会会長。

14:10～15:00 セッションⅡ「メディカルサポートコーチング基本スキル」

【内容】人の無限の可能性を引き出し、自主的な前進をサポートするコーチング。本セッションでは、メディカルサポートコーチングの基本(コアスキル)を「聴くこと」「質問すること」「伝えること」にわけ、体系的に学びます。解説の後に、随時隣席の参加者とのワークを入れて行きますので、実際にスキルを使いながら体験学習をしていただきます。

【演者紹介】勢納八郎 医療法人偕行会常務理事、偕行会城西病院院長。日本透析医学会専門医、愛知県透析医会理事。H1年名大卒。天理よろづ相談所病院で総合診療型の研修後、偕行会に入職。サテライト院長、透析事業部長、本部長等歴任し法人の拡大に貢献。日本臨床コーチング研究会幹事。

15:15～16:15 セッションⅢ「自走するチームを創るメディカルチームコーチング ～「個人」から「チーム」を対象としたコーチングへ～」

【内容】マンパワー不足や多忙な業務の中、今やそれぞれの専門性や強みを持った人材が“チーム”を形成し、卓越した成果を生み出すことが求められています。本セッションでは、卓越した成果創りにチャレンジするチームを創る新しいメソッドである「チームコーチング」の必要性、効果性とチームビルディングや多職種連携トレーニング・コーチングやコンサルティングとの違いを中心に最新の知見と実施した事例を紹介しながら共有いたします。

【演者紹介】田口智博 三重大学医学部附属病院総合診療科 助教。PHP上級認定ビジネスコーチ、PHP認定チームコーチ。コーチングとチームコーチングをテーマに診療、教育、組織運営の実践、研究をし、全国各地の学生や医療者に紹介している。

16:30～17:00 講演Ⅰ「CKD患者における治療と実践指導～栄養・服薬・生活指導～」

【内容】慢性腎臓病(CKD)の有病率は約6%と言われ、腎不全で透析を受けている患者も30万人を超えています。原疾患では糖尿病が最多で、服薬、進展予防、合併症対策のいずれの面からも患者本人の自己管理の確立が基本です。しかし実際には、疾患と向き合うことを拒み、投げやりな態度で悪化に至る症例が後を絶ちません。本セッションではコミュニケーションにより自己管理が改善した症例とコーチングスキルの要諦を具体的に紹介いたします。

【演者紹介】勢納八郎 偕行会城西病院 院長

17:00～19:00 講演Ⅱ「7つの習慣『時代を超えた効果性の原則に基づく パーソナル・リーダーシップ・プログラム』」

【内容】効果性の原則に基づき高い人格形成を支援する『7つの習慣』。全体像のご紹介とともに本セミナーで実施しているワークを一部ご体験下さい。「病気で困っている人たちを助ける。」「人々が健康で元気に過ごすために貢献する。」というミッションに強い意志を持って、技術や知識を日々磨き続けている皆さんだからこそ、それらを更に活かし支える人格を高める自覚ツール、思考フレームとしてご参考にして下さい。

【演者紹介】中川雅章 シナジー・クリエイションズ代表。PHP研究所認定チームコーチ&ビジネスコーチ(上級)/NLPプラクティショナー。キャンホンマーケティングジャパン(株)在職中、営業・本社企画を経て人材開発本部にてビジネスコーチング/7つの習慣®の社内講師。